

流速カスタムの威力の残留率表

2015.10.01改訂

加古川CQBサバゲフィールド調べ

	各測定位置で計測した弾速 (秒/m)				初速から見た威力の残留率 (%)		
	0m	10m	15m	20m	10m	15m	20m
0.2g弾							
流速タボール (ショップカスタム)	86.13	60	52.1	43.12	69.66%	60.49%	50.06%
PTW max2	89.46	62.93	53.03	44.73	70.34%	59.28%	50.00%
KSCmegaarms (ノーマル)	94.15	66.55	56.05	49.9	70.69%	59.53%	53.00%
LCT (ぷち流速)	84.53	58.6	50.32	39.92	69.32%	59.53%	47.23%
マルイハイキャパ5.1 (ノーマル)	77.4	55.4	46.05	計測不能	71.58%	59.50%	計測不能
マルイM16A1 (ノーマル)	84.7	59.85	51.16	43.19	70.66%	60.40%	50.99%
マルイM733 (ノーマル)	87.53	63.13	52.9	44.27	72.12%	60.44%	50.58%
0.25g弾	0m			20m			
流速タボール (ショップカスタム)	79.5			45.3			56.98%
マルイM733 (ノーマル)	78.3			44.4			56.70%

事の初めは流速カスタムで撃たれた場合に痛いとのご意見がありましたので
 流速カスタムをすることによって威力の残存率が高くなるのかを検証、数値で明確に各距離での値を測定して行きました。
 結果 威力の残留率はどの銃も変化はありませんでした。今回の調査は残留率を調べるものです。最初に適正ホップに調整
 以後、ホップは変更しておりません。

【痛い理由として考えられる事】

弾速チェック後ホップ調整を行って初速を上げている可能性
 初速とジュール値は比例しない可能性
 ただ単に至近距離で撃たれたために痛いと感じ強く印象が残ってしまった可能性

【今回の調査でわかった事】

流速カスタムだからといって弾の威力の残留率が高いということは考えにくい。

【今後の対策】

弾速チェック時に適正ホップにして測る・苦情が来た場合抜き打ちで弾速チェックを行うなどが考えられます。
 加古川CQBサバゲフィールドでは大きな怪我や事故が起こる事の無いよう上記対策を行ってまいります。
 最後にホップ調整だけで初速が法定を超える銃は違法銃です。使用はもちろんのこと所持も厳禁です。

加古川CQBサバゲフィールド

